

大学コンソーシアムさいたま連携推進ビジョン

さいたま市

大学コンソーシアムさいたま

1 さいたま市と大学を取り巻く現状と課題

- (1) 市民ニーズや地域が抱える課題が多様化・複雑化し、行政だけでは、それらに十分対応した公共サービスを提供することが困難になってきているなかで、地域の課題を解決し、地域の活性化を促進させるために、さいたま市と専門的知見や人材等を有する大学との連携が必要です。
- (2) 一方で、国内における18歳人口の長期的な減少や大学間競争の激化により、大学・学生を取り巻く状況が厳しさを増すなかで、各大学は、社会に資する人材の育成を推進するとともに、高度な研究を行い、新たな価値を創造し、その成果を広く社会に提供し、市民・行政・企業・NPO等の多様な地域主体と連携しながら、さらに大学の価値を高めていくことが必要です。
- (3) 上記を踏まえ、さいたま市及び各大学は「大学コンソーシアムさいたま」をこれまで以上に活用し、地域や各大学の持つ様々な情報・魅力などのリソースを集約し、共有・発信を行いながら、地域と大学、大学間の連携を促進することで、地と知の好循環を生む必要があります。

2 大学コンソーシアムさいたま連携推進ビジョン

さいたま市と大学を取り巻く現状と課題を踏まえ、さいたま市と大学コンソーシアムさいたま及び同コンソーシアム加盟大学は、下記のビジョンを踏まえ、今後の連携を推進します。

～地域が大学の価値を高め、大学が地域の価値を創造する～

地域のリソースと大学のリソースをいかした地・知の好循環を実現する！

取組の方向性

- (1) 大学の専門的知見や人材を生かした地域活性化
- (2) 学生が実践的な活動を経験できる環境・機会の充実
- (3) 「地域社会」という実践的フィールドをいかした新たな価値を創造
- (4) 新たな価値を広く地域社会に提供する知の拠点機能の推進
- (5) 「大学コンソーシアムさいたま」をいかした地域と大学、大学間の連携の推進